



タイトル：防災公園で子どもたち元気ハツラツ 撮影提供者：安田 翔さん 撮影場所：中央市総合防災公園スポーツ広場サッカー場

特集 **これからの 中央市に今、若手 職員は何を思う？** P2

- P 4 令和8年度当初予算
- P 7 3月定例会で決まったこと
- P11 審議結果
- P12 市長の行政報告
- P13 一般質問
- P14 委員会レポート
- P18 議会でペーパーレス会議やっています
- P19 トピックス
- P20 市民の談話室・編集後記

若手職員は何を思う？

まちづくり」について

② 交流・集客施設の充実

(意見)

温泉、キャンプ場、屋内スポーツ施設など、多世代が一日過ごせる複合施設や、大規模イベントができる会場整備への意見があった。



(人が集い選ばれるまちへ)

交流人口の拡大と地域経済への波及効果が期待されている。



④ 行政運営の強化(DX・民間連携)

(意見)

行政の人手不足、縦割りの課題、デジタル化への懸念。



(基盤整備による地域発展)

PFIなどの民間資本活用やDX推進、高齢者にも配慮したデジタル対応が必要である。

※PFI…公共施設の設計、建設、維持管理、運営に民間の資金、経営能力、技術的能力を活用し、コスト削減や質の高い公共サービスを目指す事業手法。



今回の対話集会をとおして

今後の“まちづくり”は、リニア開通を見据え、都市基盤整備と、多世代が滞在できる交流拠点づくりを軸にしながら、子育て・教育環境の強みをさらに伸ばし、行政のDX推進と民間連携で実行力を高めていくことが今後の鍵になっていくのではないかと考えます。議員一人ひとりがしっかりと認識し、議会活動に取り組んでまいります。



金丸議長、議会改革推進委員会の中沢委員長が市長に報告書を提出しました。

これからの中央市に今、

テーマは「中央市の

議会改革推進委員会では1月16日に「市民と議会の対話集会」を開催し、中央市役所に入庁5年未満の若手職員44名が6グループに分かれ、議員全員と意見交換を行いました。

「中央市の魅力的なこと」や「今後こうなったらいいな」など、若手職員ならではの新しい目線や考えなどを伺い、これからのまちづくりを考えるきっかけとなる活発な意見が交わされました。

今回は、その対話集会の様子を特集します。



① リニア開通を見据えたまちづくり

(意見)

リニア山梨県駅周辺の1km圏内を商店街化する構想や、スタジアム・アリーナなどの大型施設誘致、都内通勤圏としての住宅需要の取り込みなど、リニア開通をチャンスと捉えている。



(通り過ぎるまちからの脱却)

単なる通過点ではなく、『目的地になるまち』への転換が求められている。

③ 子育て・教育環境の向上

(意見)

子育て支援は「中央市はいいよね」と羨ましがられるほど評価されているのは最大の強みである一方で、公園遊具の安全性や体育館の空調未整備など、施設の老朽化や使い手に寄り添った課題が挙がった。



(まちの魅力を育て、未来へつなぐ)

強みを伸ばしつつ、足元の環境整備を進めることが重要である。

令和8年度一般会計予算

前年度比11.1%増

152億4,595万円

令和8年度一般会計予算は、市長選挙を控えた骨格予算(※)として編成されています。

令和8年第1回定例会は、2月19日から3月18日までの28日間の会期で開かれました。

市長提案の専決処分1件、条例10件、令和7年度補正予算5件、令和8年度予算10件、報告1件を審議しました。

※骨格予算とは……予算編成時に市長選挙などで政治的な判断ができない場合、最低限必要な経費を計上して編成する予算のこと。

選挙後に市長の意向を反映させた予算を追加補正として計上します。

●総務費

企画総務費

- ・ 第3次中央市長期総合計画策定業務委託料 960万円
- ・ 選挙費（知事選挙、県議会議員選挙、市議会議員選挙） 4,658万円

●民生費

社会福祉総務費

- ・ 第4次地域福祉計画策定業務委託料 635万円

保育園費

- ・ 保育園AIマッチング導入業務委託料 834万円
- ・ 田富第二・田富第三統合保育園建設事業 3億7,242万円
- ・ 田富第一・田富北保育園統合事業 1億9,473万円

●衛生費

母子衛生費

- ・ 母子健診事業 3,816万円
(幼児を対象とした集団健診に、5歳児を追加)

● 農林水産業費	農地費	
	・ 土地改良施設等維持管理事業	6,478万円
	・ 土地改良施設等基盤整備事業	7,264万円
● 商 工 費	商工業振興費	
	・ 地域未来投資促進法を活用した 産業用地の開発可能性調査業務委託	660万円
● 土 木 費	都市計画総務費	
	・ 中央市都市空間情報デジタル基盤構築支援業務 街路事業費	4,193万円
	・ 玉穂中央通り線道路改良事業 第2期詳細設計業務委託	7,080万円
	住宅管理費	
	・ 市営住宅神明団地外壁他改修工事	8,900万円
● 消 防 費	非常備消防費	
	・ 消防団員へのアプリ導入費用	117万円
● 教 育 費	給食費	
	・ 学校給食センター運営事業	3億7,429万円

討 論

反 対

国民健康保険特別会計への繰出金が減少している。一方で、国民健康保険では、子ども・子育て支援納付金導入により、被保険者負担が増える見込みである。国保会計への繰出金を元の水準に戻すことにより、新たに被保険者へ負担を求める必要はない。収入の少ない世帯が多い国保加入者に、これ以上の負担を課すべきではない。

また、市民生活を直接支える予算が十分でない。厳しい経済状況を踏まえた市民生活を支える新規事業を盛り込むべき。

- ・ 結果 起立採決の結果、起立多数により可決されました。

令和8年度各特別会計予算

会 計 名	予 算 額	前 年 比
国民健康保険特別会計	29億5,937万円	▲3.5%
後期高齢者医療特別会計	7億4,449万円	26.2%
介護保険特別会計	23億3,962万円	2.9%
地域包括支援センター特別会計	2,107万円	125.2%
田富よし原処理センター事業特別会計	6,120万円	▲35.4%

討 論

反 対

●国民健康保険

一般会計予算と同様に、子ども・子育て支援納付金により被保険者の負担が増える見込みであるが、国保世帯の厳しい経済状況を踏まえれば、負担増は避けるべき。一般会計からの繰り入れや予備費を納付金に充てるなど、負担増を回避できるはず。

●後期高齢者医療

一人あたりの保険料の引き上げが盛り込まれているが、大半が年金収入で暮らす後期高齢者に対し、これ以上の負担増を求めることに賛成できない。

- ・ 結果 起立採決の結果、起立多数により可決されました。

令和8年度 各企業会計予算

	収益的収入及び支出		前年比	資本的収入及び支出		前年比
	収入	支出		収入	支出	
簡易水道事業会計	2億6,360万円	1億9,821万円	▲15.8%	7億円	7億8,970万円	▲41.2%
			4.2%			▲38.2%
公共下水道事業会計	8億5,902万円	8億5,902万円	1.7%	8億384万円	9億3,514万円	2.9%
			1.7%			3.0%
農業集落排水事業会計	2億7,273万円	2億7,273万円	4.7%	2億5,713万円	2億9,441万円	▲26.8%
			4.7%			▲23.4%
上水道事業会計	3億2,724万円	2億7,946万円	▲5.8%	4億5,000万円	6億3,533万円	▲35.7%
			▲0.4%			▲25.6%

令和7年度
一般会計補正予算
第6号・第7号・第8号

3億5,931万円を増額

総額191億304万円へ

主な補正内容

国の補正予算成立に伴う事業費の追加と、各事業の年度末までの支出見込みや事業費の確定による補正、財源の組み替えを行うものです。

○総務費

防災諸費 1,988万円
・ 指定避難所となる8小中学校体育館へ
 気化式冷風機と専用発電機の配備費用



気化式冷風機



専用発電機

○民生費 ○衛生費

中央市医療・福祉・保育施設等
物価高騰対応支援金事業 1,730万円
・ 介護サービス事業所等(35事業所分)
・ 障害福祉事業所等(26事業所分)
・ 保育施設等(8施設分)
・ 医療機関等(病院・薬局等52機関分)

○土木費

道路橋梁維持費 2,746万円
・ 橋梁定期点検業務及び補修工事等

令和7年度 特別会計の補正予算

会計名	補正額	総額
国民健康保険特別会計	71万円	31億2,526万円
介護保険特別会計	704万円	23億7,037万円
田富よし原処理センター事業特別会計	▲1,413万円	9,115万円

主な条例案件

●地域経済の活性化と市民生活向上のため、中小企業及び小規模企業の振興に関する新たな条例が制定されます。

●中央市中小企業及び小規模企業振興基本条例制定の件（施行日：令和8年4月1日）

【主な改正内容】

中小企業者等が地域経済の発展に果たす役割の重要性に鑑み、中小企業者等の振興に関する施策を総合的に推進し、もって地域経済の持続的な発展及び市民生活の向上に寄与するため、中小企業者等の振興に関する基本的な事項を定めるもの

- ・ 基本理念を定めるもの
- ・ 施策の基本方針
- ・ 市の責務、中小企業者等の努力について定めるもの
- ・ 地域経済団体の役割、大企業者の役割、金融機関の役割、教育機関の役割について定めるもの
- ・ 市民の理解及び協力を定めるもの

●国民健康保険税に子ども・子育て支援納付金分が加算されます。

●中央市国民健康保険税条例中改正の件（施行日：令和8年4月1日）

【主な改正内容】

子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行により、子ども・子育て支援納付金を徴収することとされたことに伴い、子ども・子育て支援納付金の納付に要する費用に充てるための保険料の賦課基準について定めるもの

- ・ 保険税の賦課基準に子ども・子育て支援納付金を加える
- ・ 子ども・子育て支援納付金の所得割、均等割、平等割の額について定めるもの

討 論

反 対

少子化対策を進めるとしているが、その財源を医療保険へ上乗せして徴収し、国民負担で賄う仕組みは問題である。子育て支援は必要であるが、低収入の加入者が多い被保険者に負担を求めるべきではない。

- ・ 結果 起立採決の結果、起立多数により可決されました。

●公立保育所の再編計画に伴い、保育園の新名称が定められます。

●中央市立保育所条例中改正の件

(施行日:第1条:令和8年11月1日
第2条:令和9年 4月1日)

【主な改正内容】

公立保育所の再編計画に伴い、中央市立田富第三保育園を新園舎に移転し、新たに名称と位置を定め、及び中央市立田富北保育園を中央市立田富第一保育園に統合し、新たに名称を定めるもの

条	内容及び園舎の位置	移転・統合後の新名称	条	内容及び園舎の位置	移転・統合後の新名称
第1条	・田富第三保育園を新園舎に移転 ・西花輪2002番地	田富南保育園	第2条	・田富北保育園を田富第一保育園に統合 ・布施3015番地(変更なし)	田富中央保育園



田富南保育園新園舎の完成イメージ図

●市営住宅の保証人に関する規定が見直しされます。

●中央市営住宅条例中改正の件 (施行日:公布の日(一部:令和8年4月1日))

【主な改正内容】

身寄りのない単身高齢者等が増加していること等に鑑み、市営住宅への入居に際しての保証人の取扱いについて緩和する等のため、所要の改正を行うもの

- ・連帯保証人の居住要件を拡大するもの
- ・連帯保証人の連署を必要としないことができる者の要件について、規則委任するもの
- ・規則で定める特別の事情がある者(相当な努力を払っても条件を具備する連帯保証人を立てることができない者)は、家賃等債務保証業者との間で締結した家賃等保証契約書の提出をもって入居に係る賃貸借契約書への連帯保証人の連署に代えることができるもの
- ・民法改正に伴い、個人根保証契約において極度額の設定が必要になったことに伴い、その額を入居決定者の入居に際して算出された家賃の12月分に相当する額とするもの

●空家等の適正管理に関する意識の啓発や空家等の所有者に対する必要な支援を行います。

●中央市空家等対策の推進に関する条例及び中央市空家等対策審議会条例中改正の件

(施行日:令和8年4月1日)

【主な改正内容】

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴い、特定空家等及び管理不全空家等の措置等について定めるもの

第1条 中央市空家等対策の推進に関する条例の一部改正

- ・ 条例で使用する用語の定義について「特定空家等」及び「管理不全空家等」を追加するもの
- ・ 市長は、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、法に基づき空家等対策計画を定めるものとするもの
- ・ 市長は、空家等の所在及び所有者等を把握するため、法に基づく必要な調査を行うことができるものとするもの
- ・ 市長は、調査の結果に基づき、特定空家等又は管理不全空家等に該当するか否かを判定するものとし、その判定については、審議会の意見を聴かなければならないものとするもの
- ・ 市長は、法に基づき特定空家等の所有者等に対しては、必要な措置を助言、指導、勧告、命令を行うものとし、管理不全空家等の所有者等に対しては、必要な措置を助言、指導、勧告を行うものとし、これらの措置を行う場合にあつては、必要に応じ審査会の意見を聴くものとするもの



第2条 中央市空家等対策審議会条例の一部改正

- ・ 審議会の所掌事務に管理不全空家等に対する判定事項及び特定空家等に対する措置及び管理不全空家等に対する措置事項について定めるもの

●令和7年度税制改正による給与所得控除の最低保障額が10万円引き上げられますが、令和8年度に限り、介護保険料の算定は、給与収入に応じて、従前の控除額と同様に調整して計算されます。

●中央市介護保険条例中改正の件

(施行日:令和8年4月1日)

【主な改正内容】

介護保険法施行令の一部改正に伴い、地方税における給与所得控除の見直しに伴う令和8年度の保険料率の算定に係る特例を定めるもの

- ・ 令和8年度の保険料率の算定に関する所得の額の算定方法の特例
給与所得のある第1号被保険者であつて、令和7年中の給与等の収入金額が55万1,000円以上190万円未満であるものの一部について、令和8年度分の保険料率を算定するにあたり、その合計所得金額を令和7年度税制改正による地方税の給与所得控除の最低保障額引上げ前の額と同額とするための算定方法の特例を定めるもの
- ・ 令和8年度の保険料率の算定に関する基準の特例
第1号被保険者の属する世帯の世帯主及び全ての世帯員のうちに、令和7年の給与所得のある者であつて、一定の要件に該当するものがあるときは、当該第1号被保険者を市町村民税世帯非課税者に該当しない者とみなして、令和8年度分の保険料率を算定する特例を定めるもの

定例会審議結果

○賛成 ×反対（金丸 俊明 議長を除く）

種別	案件名	副議長	フォーラム中央										至誠会		公明党	日本共産党	無所属	結果	
		山本六男	田中一臣	福田清美	井口貢	小池章治	斉藤雅浩	笹本昇	中沢美恵	志村勇	有泉誠	内藤巧	山村一	江間政雄	新海一芳	田中輝美	木下友貴		薬袋正
第1回定例会																			
専決処分	専決処分の承認を求める件 (一般会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例案件	中小企業及び小規模企業振興基本条例制定の件																		
	職員給与条例中改正の件																		
	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件																		
	職員等の旅費に関する条例等中改正の件																		
	国民健康保険税条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	市立保育所条例中改正の件																		
	市営住宅条例中改正の件																		
	空家等対策の推進に関する条例及び空家等対策審議会条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護保険条例中改正の件																			
令和7年補正	一般会計補正予算(第7号)																		
	一般会計補正予算(第8号)																		
	国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	介護保険特別会計補正予算(第4号)																		
	田富よし原処理センター事業特別会計補正予算(第3号)																		
令和8年補正	一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	介護保険特別会計予算																		
	地域包括支援センター特別会計予算																		
	田富よし原処理センター事業特別会計予算																		
	簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	公共下水道事業会計予算																		
	農業集落排水事業会計予算																		
上水道事業会計予算																			

市長の
行政報告
**“心”あるまちへ活性化キャンペーン
第7弾商品券事業**

長期化する物価高騰の影響による市民の皆さまの負担軽減と、市内店舗・事業所を応援することを目的に、前回定例会において予算のご承認をいただきました本事業は、「中央市“心”チケット」の発送を3月中旬から開始いたします。

商品券は、市民一人あたり1万円、内訳は中小店専用券が7千円分、共通券が3千円分とし、使用期間は、令和8年4月20日から6月30日となります。

**山梨大学と連携した
新たなヘルスケア
プロジェクト**

山梨大学が、本市など関係機関と提案した「デジタル技術を活用したヘルスケアに関する研究プロジェクト」が、昨年の12月10日、科学技術振興機構において事業採択を受けました。

このプロジェクトの概要は、初めに中央市を拠点として、健康情報集積の集積基盤を整備し、集積した健康情報を活用する新たな「生活習慣病などの重症化を予防する手法の確立」、そして「確立した手法を実社会で活用する方法の開発」を目指すもので、令和8年度は、糖尿病予備軍とされる方を対象に、1,000人規模の採血事業を予定しております。

本市では、長期総合計画の中長期的な取り組みとして、「生活習慣病の重症化予防」や「地域経済の発展」を掲げており、今後は、山梨大学や本プロジェクトに参加する関係機関と密接に連携を図り、市民の皆さまの健康はもとより、中央市全体の持続

的な発展に向けて、このプロジェクトを着実に推進してまいります。

**南甲府警友会中央市地域安全・
防災アドバイザーの発足及び青色
防犯パトロール団体の委嘱**

昨年12月10日、元警察職員で組織する南甲府警友会の会員のうち、中央市内に居住する会員により、防犯パトロール等、地域安全活動を通じて、安全で明るく住みよい中央市の実現を目指すことを目的に「南甲府警友会中央市地域安全・防災アドバイザー」が設立されました。本市が行う青色回転灯装備車による防犯パトロールと同一の趣旨であることから、団体の発足と同日、青色防犯パトロールの実施団体として委嘱を行ったもので、今後も同団体との連携を深めながら、市民の皆さまが安全で安心して暮らせる地域づくりを推進してまいります。

**株式会社甲府大2実業との災害
時等における段ボール製品の提
供に関する協定**

本協定は、市内において大規模災害が発生した場合などに、

本市の要請に基づき、指定避難所等へ段ボール製品を迅速に提供いただくことにより、被災者の避難生活の負担軽減と生活の早期安定を図ることを目的として、昨年12月11日に締結したものであります。

**佐川急便株式会社との包括
連携協定の締結**

本協定は、災害対策、地域の安全・安心、観光支援、地域産品の流通・販売支援、環境保全の推進、その他地域活性化に関することなど、幅広い分野で緊密に連携し、市民サービスの向上を図ることを目的とするもので、1月9日に締結式を執り行いました。

具体的な取り組みは、災害時における支援物資の受入れや配送への協力のほか、子どもや高齢者の見守り事業などを連携して行うことを予定しており、今後は、さらに幅広い連携を進めてまいりますと考えています。

本市では、引き続き災害に強いまちづくりなど、市民の皆さまの安全安心に向けた取り組みを加速化してまいります。



A Q

シルクの里公園のハンモック撤去後の新設遊具の設置は
幅広い観点から来園者が楽しめる遊具の設置に向けた調査等を進め、今後の対応方針をまとめていく

内藤 巧 議員

問：シルクの里公園のハンモック撤去後の新設遊具の設置について。

答：利用ニーズを把握し、公園周辺の一帯的な整備の在り方、市が

管理する他の公園の遊具の更新など様々な観点から検討が必要である。幅広い観点から来園者が楽しめる遊具の設置に向け調査し、今後の対応方針をまとめる。

問：玉穂ふるさとふれあい広場の維持管理について。

答：玉穂ふるさとふれあい広場の「テニスコート」と「ゲートボール場」は、共に完成から31年が経過し、老朽化が進む中、安全対策として、テニスコートでは、コートのひび割れへの補修や器具類の点検等を行い、利用者が安全に利用できる環境を整えている。両施設とも、施設内外の除草等環

境整備にも努めている。今後の改善策や施設の更新等は、利用者

や関係団体等の意見を踏まえ、更新計画等を作成していく。

問：総合防災公園の芝生広場の活用方法や利用計画は。

答：芝生の養生と育成のため、スパイクやポイント付きの靴の使用を禁止とし、アップシューズやトレーニングシューズを使用するスポーツへの貸出しを計画している。これにより、グラウンドゴルフやサッカーなどのほか、アップ場所や練習場所としてご利用いただけるものと思定している。

【関連質問】

福田清美 議員

有泉 誠 議員



A Q

のるーと中央について
住民ニーズを中心に課題を整理し、必要な改善を行っていく

木下 友貴 議員

問：のるーと中央について。

答：現在集計中の昨年12月末に実施した利用者、未利用者へのアンケート結果等により、住民ニーズを中心に課題を整理し、中央市り、必要な改善を行っていく。

問：地域公共交通を成功させるための地域との協働等に対する本市の考えは。

答：地域公共交通を成功させるため、実証運行中の現段階においては、まず、地域の皆さまにご協力いただき、利用の促進を図っていききたい。利用者の少ない地域を重点的に説明会などを実施し、利用促進を図る啓発活動を推進していく。また、誰もが安心して利用できる持続可能な運営体制を構築するために、広告収入の創

出、協賛金制度の導入など地元企業や商店とも連携していくことも重要になるので、こういった取り組みも協議会で検討していきたい。今後も、実証運行に全力で取り組み、誰もが安心して利用できる持続可能な公共交通の実現につなげていきたい。

問：高齢者の見守りについて。

答：高齢化の進展により、高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯が年々増加しており、高齢者の見守り体制の充実は大変重要な課題であると認識しており、地域包括支援センターを中心に関係機関などと連携を図りながら、高齢者の見守りに努めている。

【関連質問】

江間政雄 議員



A **Q**

**産後ケア、産後ヘルパー派遣
事業について**

**今後支援が必要な人に、確実に
支援が届くよう、さらなる拡充に
努めていく**

田中 輝美 議員

問：産後ケア、産後ヘルパー派遣事業について。

答：本市では、出産後の母親の心身の負担を軽減するために、妊娠期から新生児訪問までを通して、担当保健師が継続的に関わる相談体制を整えている。育児や生活上の悩みに対応する「育児相談」・発育や育児全般に関する専門職による「すこやか相談」、さらにストレスが高いと判断された人への「リフレッシュカウンセリング」への案内など、多岐にわたる相談窓口を設けている。産後ケア事業では、医療的処置は必要ないが、産後の体調不良や育児不安により支援を必要とする母親と乳幼児に対応するため、宿泊型の産後ケア事業を中心に実施している。本市では、「子育て

世帯訪問支援事業」を市社会福祉協議会に委託して実施している。

市が必要性を判断した家庭に支援員を派遣し、家事や育児支援を行う。現在、この「子育て世帯訪問支援事業」を中核的な事業と位置付け、今後も支援が必要な人に確実に支援が届くよう、拡充に努めていく。

問：女性に配慮したAEDの使用
方法と三角巾の配備は。

答：市内では現在、35箇所の公共施設にAEDを設置している。三角巾は、応急手当用品としての有効性に加え、AEDのパッドを貼った後の肌を覆う用途としても使用できる。まずは、市の公共施設等に設置しているAEDに三角巾を配備する方向で検討を進めていく。

総務教育常任委員会

審査ポイント

小学校に配備する冷風機の性能は

◎ 一般会計補正予算(第7号)

〈総務部 危機管理課〉

問：市内の小中学校に配備する冷風機の性能は。

答：気化熱を利用して冷風を発生させる仕組みで、水を含んだフィルターに風を通すことにより、温度を下げた空気を送り出すものである。

問：冷風機のほか、同様に配備するハイブリッド発電機も、緊急時以外にも使用可能か。

答：防災意識を高める目的もあるため、どちらの機材も平時でも使用することを想定している。

〈未来戦略部 政策秘書課〉

問：ふるさと納税について、一般寄附金を減額して、指定寄附金に振り分ける理由は。

答：本市では、指定寄附金の使途を「子育て支援」「環境にやさしいまちづくり」「誰もが安心して暮らせるまちづくり」「SDGsの推進に取り組むまちづくり」の4つの項目に分類してい

る。使途を指定しない寄附も可能であるが、当初にどの項目に寄附が集まるかが不明なため、まずはすべて一般寄附金への歳入として計上している。

〈教育委員会 教育総務課〉

問：共通管理費のうち、委託料や備品購入費が減額になった理由は。

答：一人一台端末の購入台数の減少や入札差金の減額が主な理由である。予算計上時は令和6年10月1日現在の児童生徒数で計上していたが、補助金申請時には令和7年5月1日現在で算出したため、減額する要因となった。

問：児童生徒数が減少したのか。

答：一人一台端末の台数の算出にあたり、児童生徒数は令和6年10月では約2,250人としていたが、令和7年5月では約2,180人となったため、減少した。

厚生常任委員会

審査ポイント

公立保育園の今後は

◎市立保育所条例中改正の件

〈ごども健康部子育て支援課〉

問：田富第一保育園や田富第三保育園の新名称は公募したのか。

答：当初は公募を検討したが、保護者や地域の皆さまにも分かりやすい名称とすることを優先に市内で合意形成を図り、既存の市内保育所の名称等を考慮しつつ、保育所の所在位置や地域性等を明確化する名称とした。

問：田富北保育園の今後の利用の方向性は。

答：市街化区域内にある頑丈な鉄筋コンクリートの施設であるため、地域のニーズに応じた利活用ができるか議論を進めている。各種団体から施設を利活用して事業展開したいという陳情や要望等があり、今後、全庁的に方向性を検討していく。

問：田富第三保育園は今後どうするのか。

答：立地条件的に市街化調整区域の制約を受ける建物なので、解体

を前提としている。

問：解体後の跡地はどうするのか。

答：跡地利用については、現時点で具体的には定まっていない。普通財産として残すことは、安全管理上の懸念もあり、早急に結論を出していかなければならない。

◎介護保険特別会計補正予算(第4号)

〈福祉部長寿推進課〉

問：高額介護サービス費の申請件数が増えている理由は。

答：要介護認定者のうち、寝たきりや全介助の状況でサービス利用量が多い傾向にある要介護5の認定者が、計画値より大幅に増加している。また、自己負担額が上限に達する割合も高く、それに伴い介護給付費が増加している。令和6年で3,000件ほどあった高額介護サービス費の申請は、今年度は3,100件と増加している。

産業土木常任委員会

審査ポイント

市内の空き家の状況は

◎中小企業及び小規模企業振興基本条例制定の件

〈産業建設部産業課〉

問：県内市町村では、既に10年ほど前から策定されている。本市が今になり策定する経緯は。

答：市や県の商工会から要望があり、現状、小規模企業等の支援に対する継続性や一貫性が不明確で、今後、様々な施策に影響する可能性があるため策定する。

問：この条例を制定する利点は。

答：現在本市には、企業振興に対する考え方等の重要な基盤がないため、この条例により、これまで曖昧だった行政や商工会、金融機関等の役割が明確になり、様々な施策が展開できる。

◎市営住宅条例中改正の件

〈産業建設部建設課〉

問：本市では、連帯保証人の確認は入居時のみで、入居後に連帯保証人が死亡、または転居した場合、確認がされていないと思われる。

答：連帯保証人の確認を改めて行う必要があると考えらるがどうか。

答：入居承継の際や保証人を変更するタイミングで保証人の立て直しを行い、債務保証業者との契約再締結を徹底する。

◎空家等対策の推進に関する条例及び空家等対策審議会条例中改正の件

〈産業建設部建設課〉

問：調査対象の空き家は何戸か。

答：住民基本台帳や水道の開栓情報等を調査し、現地で空き家の疑いがある物件へアンケートを送り、最終的に空き家等と絞りこまれた物件は271戸である。

問：空き家、特定空き家、管理不全空き家は何戸か。

答：市内の空き家等の実態調査を現在実施中で未確定である。なお、確定前ではあるが、倒壊や建築材の飛散等、危険が切迫し緊急度が極めて高い空き家は14戸である。

予算特別委員会

〈中央市一般会計予算〉

◎総務部 総務課

問：自治会から防犯灯設置の依頼が多数寄せられていると思うが、現時点でどの程度設置が進んでいるか。

答：市の基準に基づき、小学校の指定通学路や1級・2級の市道など主要幹線道路沿いで優先順位をつけ対応している。なお、令和8年度は2件を予定している。

◎総務部 危機管理課

問：消防団員のサポート事業の実績と令和8年度の予定は。

答：団員カードの提示により、飲食や商品の割引などが受けられるサービスと、準中型免許やAT限定解除等の免許取得に関する補助がある。免許取得補助の令和7年度実績は3名である。割引などが受けられるサービスは、現在21店舗が協力しているが、利用頻度向上に向け店舗の拡充を図っている。

◎未来戦略部 政策秘書課

問：ふるさと納税は2月末で1億5,000万円であり、令和8年度も同額と見込んだ理由は。

答：歳入予算は目標値を高く設定するが、歳入が伴わないと財源不足が生じるため、予算編成は実績に基づき計上している。目標に向けて取り組み姿勢に変わりはない。

問：企業版ふるさと納税でクラウドファンディングのような仕組みを活用する予算がないが、具体的な検討はされていないのか。

答：市では市長をトップに部長級以上で構成するふるさと納税推進本部を設置し、ふるさと納税推進プランを策定した。このプランにガバメントクラウドファンディングも位置づけをし、現在令和8年度の実施を視野にテーマの選定を進めている。



◎教育委員会 教育総務課

問：冷水器を小中学校体育館に設置するが、猛暑時はそれだけでは対応しきれず、空調設備を入れ替えていかなければならないと思うが、どう考えているか。

答：小中学校体育館への空調設備の設置は、文部科学省の補助金を計画的に活用する。夏休み等の長期休暇を中心に工事を行うため、現在は設計及び工事の計画を進めている。空調設備の設置完了まで、熱中症対策として水筒でも利用しやすい給水器を導入する計画である。

問：スクールロイヤー業務委託の内容は。

答：学校が抱えるいじめ不登校等、複雑で専門的な課題に対して、弁護士的知見を活用し、迅速かつ適切な助言や支援を受けることで、教職員の負担を軽減し、教育活動に専念できる環境を確保することなどを目的に、年間相談費用に39万6,000円計上した。

◎福祉部 福祉課

問：重層的支援体制整備事業の交付金が減額される可能性があるかと

の報道があり、全体で7割程度の減額が予想されている。今後交付金が削減されると、どのような影響が出るのか。

答：交付金の取扱いは、事業開始から5年経過後に他機関協働事業の交付割合が見直され、県と市の負担が増加する予定とされている。本市は現段階では交付金額に大きな影響はないと見込んでいる。

◎福祉部 長寿推進課

問：eスポーツを活用した認知症予防の事業計画は決まっているのか。

答：各地域のサロンや高齢者の地域づくり、また、ゲーム指導員の資格を持った職員が各自治会に伺い、ゲーム機の操作等を一緒に実施するなど、生きがいづくりの活動に活用していく。

◎こども健康部 子育て支援課

問：令和8年度から行われることも誰でも通園制度事業には、国や県の補助金が予算計上されているが、事業の詳細は。

答：保育園等に所属していない子

どもが対象で、6か月から3歳未満と定められている。本事業は全国一斉で開始され、市内で予約が取れない場合でも、近隣市町村の施設を予約できる広域利用が可能。本市ではまず玉穂保育園を起点に予定している。なお、国の方針で利用時間は月10時間までとされ、利用者負担金は1時間あたり300円を予定している。

問：子どもが急に病気になる予けたいときに、この制度を使えるか。

答：この制度は保育士が子どもを保育する形で預かるものであり、医療的なケアを含む急な体調変化への対応はしていない。その場合には、県域で展開している病児保育事業の利用が適当である。

問：こども誰でも通園制度の導入に伴う保育士補充の検討は。

答：事業実施に伴い、園長等に課題等のヒアリングを行ってきた。その上でノウハウを持った経験豊富な保育士を中心に置き、在園児と合同で保育を実施することで、柔軟な職員配置を行い安心安全な保育環境を提供できるよう努めていく。

問：保育園統合による施設整備事業

業について、田富第一保育園では統合の有無に関わらず、緊急的な整備はあるか。

答：外装の塗替えや空調設備の入れ替え等補修を中心に平成26年度に大規模改修を実施している。今回はひさしの構造による雨天時の吹込みの解消や各所の段差解消等、懸案事項の解消を目的として改善を行う。なお、子どもの安全に直結する空調設備等は対応済みである。

問：田富北・田富第一保育園の統合に伴う保育園施設改修事業は、

約2億1,000万円をかけて実施され、統合の効率化による削減可能な費用は、田富北保育園管理事業の削減が主な対象との説明だった。削減額は年間約1,100万円であるが、約20年かけて費用効率を実現する仕組みに財政的な効率があると言えるのか。

答：田富第一保育園は築49年、田富北保育園は築43年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。施設すべての建替えや大規模改修を行うと事業費規模がかなり大きくなるの見込まれ、令和2年に「公立保育所再編基本計画」を定めた。こ

の計画で、公立保育所をすべて大規模改修や建替えを行わず、施設

の再編を進める方針となった。その効果は、維持管理費の削減や保育士の効率的な配置、建替えのほかに事業費にも充てることができ



◎玉穂支所・豊富支所

問：保守管理委託料の業務内容が各支所で異なっている。支所ごとにそれぞれ異なる業者と契約しているのであれば、一つの業者に委託し、業務単価を下げるということとはできないか。

答：電気保安管理業務は管財課で委託しているが、その他のものについては検討する。

◎産業建設部 産業課

問：鳥獣害防止対策事業について、新規の狩猟者確保対策事業費

が県から2分の1の補助を受け、講習料等が2名分子算化されているが狩猟免許を取得しても、その後の維持や狩猟等にかかる負担が大きく、実際は厳しい現状である。さらなる支援を検討すべきかと思うが。

答：猟友会の総会等で関係者から話を伺い検討していく。

〈国民健康保険特別会計予算〉

◎市民部 保険課

問：子ども・子育て支援納付金による被保険者の負担増の額は全体でいくらか。

答：県が示した保険料率で計算すると、全体で約1,700万円の納付が見込まれる。

〈後期高齢者医療特別会計予算〉

◎市民部 保険課

問：後期高齢者医療保険料は、1人あたりいくら増額になるか。

答：令和8年度と令和9年度で税率等が変更となる。1人あたり平均で医療費分が3,149円、新設の子ども・子育て支援納付金が2,185円、年額1人あたり平均5,334円の増額となる。



事務局

ペーパーレス会議システムを1年間使ってみて、どうですか？

シンプルな操作で慣れてきました。



江間議員

始めは使いこなせるか不安でしたが、紙と同じように資料に手書きでメモやマーカーを引けるので、随分便利だなと感じました。



田中議員

資料をすべて持ち歩けるため、いつでもどこでも閲覧したり調べたりすることができて、いいよね。



金丸議長

事務局

事務局では議会で必要となる膨大な資料の印刷がデータ化されたことにより、大幅なコストの削減と職員の業務負担の軽減につながっています。

なかにはタブレットではなく、紙のほうが見やすい資料もあったかなと思います。
タブレットで完結できるのも良いと思いますが、会議の内容によってはタブレットと紙資料を並べて臨めたらいいなと思います。



山本副議長

令和7年度山梨県広報コンクールで奨励賞を受賞！

令和7年度議会広報コンクールにおいて、中央市議会だより第79号（11月号）が議会広報紙部門において「奨励賞」を受賞しました！

このコンクールは、山梨県広報協会が主催し、自治体広報と議会広報の広報紙が審査されるものとなります。



【評価ポイント】

- ・表紙の写真を20周年をテーマに住民から募集したことや、歴代議長による座談会は議会側から見た20年を伝えた企画であり、興味深く毎号が楽しみです。
- ・編集後記にある市のイベントで議会のブースを出店する告知は、読者が興味を持つ面白そうな内容でした。

いつも「中央市議会だより」をご愛読いただき、ありがとうございます。

取材やインタビュー等にご協力いただきました多くの皆さまと、日頃からお読みいただいております全ての皆さまに感謝申し上げます。

これからも議会広報編集委員会一丸となって、皆さまに関心を持っていただけるような紙面づくりに努めてまいります。今後とも「中央市議会だより」をよろしく願いいたします。

表紙の写真を大募集!!

今年度のテーマは「**元気ハツラツ**」です。
地域の笑顔、イベントの風景、ボランティア活動等、
元気いっぱいの写真で議会だよりの表紙を
飾ってみませんか!!（表紙に採用された方には粗品を贈呈します）



※詳細は

HP(https://www.city.chuo.yamanashi.jp/soshiki/gikai/gikai_info/13325.html)

をご覧ください。事務局（055-274-8516）までお気軽にお問い合わせください。

合同研修会

山梨県市議会議長会 議員合同研修会

2月10日、アピオ甲府において山梨県市議会議長会議員合同研修会が開催されました。

講師は、静岡県藤枝市理事兼人材育成センター長である山梨秀樹氏で、「未来をたくましく生き抜く！自治体の言葉力」をテーマとして、自治体組織を活性化するための人材育成と、それに対する議会や議員の役割等について、大変貴重な講演を聴きました。



市民の談話室



中橋
やまがた よしえ
山形 芳枝 さん

中央市にご縁がありました

当地に居を定め、35年経ちました。主人と私の実家の真ん中、山梨県の真ん中。主人の職場への距離、子ども達の高校への通学等を考え、当地を選びました。当時は家の周辺には電灯も、信号も、スーパーも数少なかったのですが、今では最高の立地となりました。

住民の方々も、穏やかで、親切です。家族一同、多くの方々にお世話になっています。私も高齢者の一員ではありますが、微力ながら、いくつかの役職を仰せつかり、皆さまの御協力を得て、毎日の生活を楽しくしています。

公会堂での週一度のいきいき百歳体操や、中央市のバスを利用してのいきいきサロン実施等を主催しています。

民生委員や男女共同参画委員としての活動も15年となります。体力の続く限り、お役に立てる範囲で、活動していきたいと思っています。



下成島1区
ないとう あやの
内藤 綾乃 さん

全国を目指して!!

私は小学校3年生から「ダブルタッチ」をやっています。

2本のロープを3人以上で回し、その中で音楽に合わせて跳びながらダンスやアクロバットなどのパフォーマンスをする競技で、チーム全員が一つにならないと成立しないことから「究極のチームスポーツ」と呼ばれています。

一つのパフォーマンスが出来上がるのには、何か月もかかります。同じところを何度も繰り返し、練習します。

発表の場は1度だけです。何百人もお客さんがいる前でステージに立つと、緊張してしまいロープに引っ掛かり、何百回と練習した技ができずに終わってしまう時もあります。もう1回やりたいと思ってもできない、その悔しさを二度と味わいたくない。そのためには練習をどんなにやっても終わりはありません。

今のチームで大会に出られるのはラスト1回です。思い残すことがないように全力投球し、ノーミスで優勝を目指します。

編集後記

令和8年第1回市議会定例会は3月18日に閉会しました。中央市長選挙があったため、令和8年度中央市当初予算は骨格予算での審議となりました。

近年、農村の高齢化による離農や後継者不足で農地の遊休、荒廃地化が進んでいます。農機具や燃料、資材など、どれをとっても値上がり止まりません。それでも農家の皆さんは、今日も田畑に立ち、今年の作物づくりを思い描いています。食べ手の笑顔を思い浮かべながら、希望を込めて耕し、種をまき、育て届けてくれております。

4月9日に望月市政2期目がスタートしました。中央市の基幹産業は“農業”です。次回第2回市議会定例会の折には、農業振興に「政策」をしっかりと示され、農家の皆さん一人ひとりが農事に励み、携われることに心から期待をしていきたいと思っております。

議会広報編集委員会

委員長 江間 政雄
副委員長 田中 輝美
委員 内藤 巧 有泉 誠
志村 勇 木下 友貴

